

## 第2回 宿毛市庁舎建設審議会（会議内容まとめ）

（文中敬称略）

1. 日 時 平成30年7月21日（土）13時～15時00分
2. 場 所 宿毛市役所3階 委員会室
3. 内 容 庁舎建設に関する住民の意見集約について、庁舎の在り方について  
今後の審議会のスケジュールについてほか
4. 委 員

（1）委員 （◎会長 ○副会長）

氏 名	所 属 等	出 欠
◎原 忠	高知大学 教授（専門分野：地盤耐震工学）	出席
○立田 雅弘	宿毛商工会議所 会頭	出席
伊賀 達也	中村河川国道事務所 事務所長	出席
大塚 勉	社会福祉法人 宿毛市社会福祉協議会 会長	出席
岡村 好知	宿毛市地区長連合会 会長	出席
坂本 淳	高知大学 講師（専門分野：都市・交通計画学）	出席
成田 江里	公益社団法人 宿毛青年会議所 理事長	欠席
橋詰 淳	高知県危機管理部 地域防災企画監	出席
山下 雄介	株式会社四国銀行 宿毛支店 支店長	出席

（2）事務局及び関係課

副市長	岩本 昌彦
総務課長	河原 敏郎
企画課長	黒田 厚
危機管理課長	岩本 敬二
都市建設課長	小島 裕史
総務課長補佐	長山 敏昭
危機管理課長補佐	大串 一生

### 5. 配布資料

- 資料1 住民意見交換会意見集約（①-1、①-2）
- 資料2 住民アンケート調査結果概要
- 資料3 現庁舎の課題と3候補地の優位性
- 資料4 東日本大震災における市町村被災状況等（④-1、④-2）
- 資料5 四国地方小委員会及び計画段階評価について（抜粋）
- 資料6 概算建築費

配布参考資料

- ・南海トラフ地震長期浸水対策（抜粋）
- ・宿毛湾港機能継続計画
- ・道路啓開計画（抜粋）
- ・今回の西日本豪雨での宿毛市における被害状況（写真）

## 6. 議 事

（会長挨拶）

会長あいさつ。

（事務局より配布資料の説明及び質疑応答）

事務局より資料の説明後、質疑応答。

（質疑）庁舎建設に関する住民の意見集約について

- ① 住民アンケートの回収率について
- ② 小深浦高台の地盤や土砂崩れの問題について
- ③ 庁舎をきっかけとした災害に強いまちづくりのビジョンについて
- ④ 支所的な機能について

（応答）

- ① 全市民を対象としたアンケートという観点からいえば高い回収率
- ② 小深浦高台の地質調査は数箇所実施済み。また、地盤が悪い部分についても地盤改良により対応可能。また、土砂災害の危険区域は造成予定区域の中では存在しない。
- ③ 庁舎の建て位置などの条件が決まれば、速やかに都市計画マスタープランの改訂に取り掛かり新たなまちづくりのビジョンを描いていきたい。その際のマスタープランでは防災についても改めて見直しを図っていきたい。
- ④ 仮に庁舎が現在地から移転することになれば、使い勝手に不便さを感じる方もいると思われるので支所的な機能は必要であるとする。

（質疑）庁舎の在り方について

- ① 現在地で庁舎を建設した際、ピロティ部分に駐車場を設置した場合の執務室の確保について
- ② 県道7号線の冠水対策について
- ③ 総合運動公園の有効利用について
- ④ 総合運動公園と庁舎の連携について
- ⑤ 小深浦高台へのアクセス道や河川氾濫等の問題について

(応答)

- ① L2対応の庁舎を建てるとすれば6,7mの津波に対応しなければならないので、現庁舎と同じだけの執務室を確保するとすると3階、4階、5階に執務室を設けることとなるため難しいと考える。
- ② 与市明川の河川改修とあわせて道路の嵩上げなどを高知県が対応していく計画となっている。
- ③ 総合運動公園は発災時の救援物資の受け皿となっている。そして陸上競技場は自衛隊のベースキャンプ地になっている。また、ヘリポートも備えていることから医療搬送の機能についても有しており、各種機能で有効利用できると考えている。
- ④ 総合運動公園は幡多の拠点であり、災害対策本部を置く庁舎との連携はルートやアクセスなど今後の重要な課題となってくる。
- ⑤ 第3回審議会に資料を提出し詳細について説明する。

(第2回審議会でのまとめ及び第3回審議会議題)

第2回審議会にて庁舎建設にあたっては災害からの復旧・復興、防災拠点施設としての機能が大切であることや、L2レベルの津波対策の必要性やコスト面など、全体的に考えて高台案が有力。しかし、アクセス道や河川の氾濫等の問題について、まだまだ議論すべきことがあるので、第3回審議会に資料を提示してもらい検討していく。

(第3回目以降の審議会の日程決め)

第3回目は8/1(水) 13:00～

第4回目は8/23(木) 14:00～

場所については宿毛市役所3階 委員会室